

P-1-1

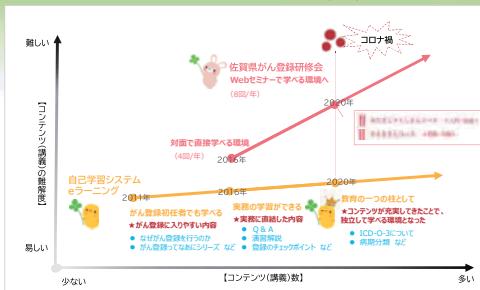
初級者向けコースを開催してわかった、E-ラーニングを併用した 佐賀県独自のがん登録研修会の現状とこれから

佐々木和哉¹⁾、中田慶子¹⁾、高崎光浩¹⁾、中尾佳史¹⁾、荒金尚子¹⁾、萬合健宣²⁾
佐賀大学¹⁾、佐賀県立²⁾

【目的】

- 私たちは実務者の知識のアップデートのために、自己学習システムとして、がん医療従事者eラーニングシステム（以下ELS）を導入し、継続・充実させてきた。
- 2016年からは、並行して佐賀県がん登録研修会（以下、研修会）を対面式で開始し、現在10回／年Web開催している。一方、初心者がいきなり研修会を受講しても、その知識ギャップが大きく、そのため、2020年から初級者向けクラスを、「おたまじやくしさんコース」（OC）と命名した。
- この二つの取り組みの現状を振り返り、ELSの今後の方向性を明らかにする。

△ e ラーニングと佐賀県がん登録研修会のコンテンツ（講義）について



【方法】

- OCを開講した2020年から2021年について、受講状況や、研修会で回収した受講者アンケートからコメント等を集めました。

【結果/1】

- ELS登録者ははべ226名（2022/2/21時点）



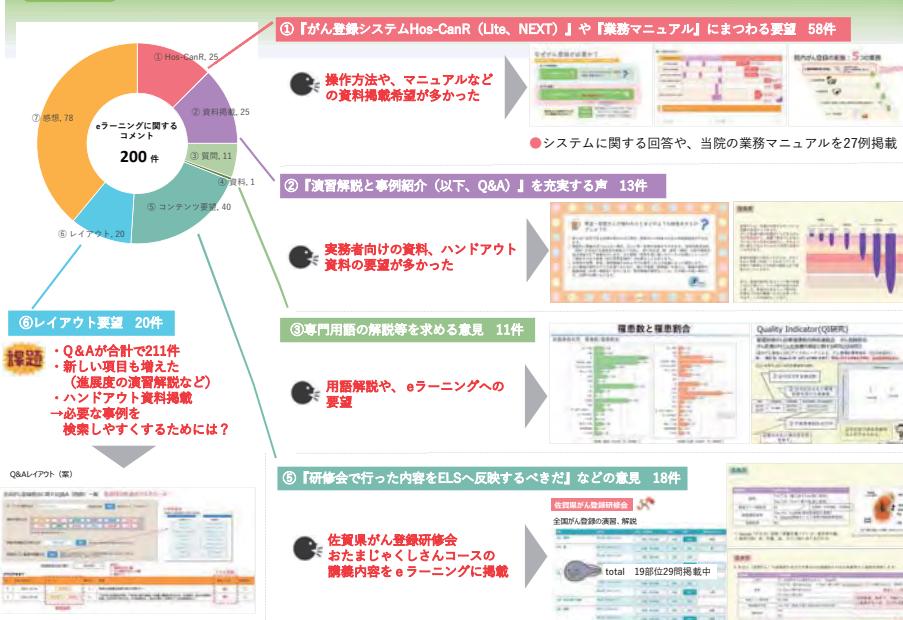
△ 登録者数の推移 (2020年1月～2021年12月) ※数字は新規登録者数



- 所属別でみると、病院・診療所が52%、がん診療連携拠点病院が37%占めていた。

- 動画閲覧や資料をダウンロードしたログ数は延べ8686件

【結果/2】



【考察/1】

- コンテンツ数が多くなりすぎて受講者、特に初級者には負担になりすぎる危険がある。受講者のレベルによって、ELSのHP上で、学習すべきコンテンツを適切に選べる仕組みが必要かもしれない。
- 例：トップページ、学習の仕方のページの改修



【考察/2】

- 初級者向けとして開講したOCの評価は高く、それに合わせて、従来から存在したELSは拡充しており、今後も内容の随時アップデートを行う必要がある。

*作成予定のコンテンツ一覧

- 全国がん登録の部位別テキスト付き演習解説 (10部位)
- 進展度 (12部位)
- 全国がん登録の部位別テキスト (21部位)



【考察/3】

- 今後これらの課題を解決し、初級者がスムーズにレベルアップできる自己学習システムを構築する。

(利益相反 (COI) : 無)